

港川自治会だより

会員募集

21年1月
第339号

迎春!!

明るい未来へ 時代の転換点!

問われる浦添市民の選択

守ろう里浜! 止めよう地球温暖化!

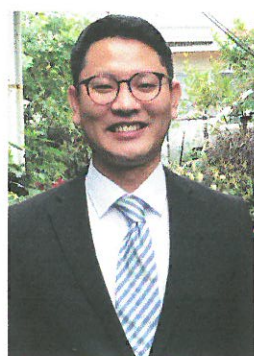
断念させよう 西海岸の埋立開発!

2月7日実施の市議会議員選挙。自治会と共に活動する金城ダイスケも、2期目挑戦へ始動しました。地域の明るい未来実現に向け、一緒に頑張ってください!

【ダイスケ議員からのメッセージ】

明けましておめでとうございます。

浦添市議の金城ダイスケです。特別評議員としてお世話になって4年になります。これまで、毎年多くの



自治会行事に参加させて頂きました。新型コロナの感染拡大で地域活動が制約される中でも、港川では活動場所を広げるなど、工夫しながら継続してきました。困難な時にこそ新しい活動の在り方を考え、行動していく一港川自治会のたくましさには学ぶことばかりでした。2期目に向け、こうした貴重な体験をぜひ活かしていきます。

今年もよろしく願い申し上げます。!

今年もよろしく願い申し上げます。!

遊び方など 学ぼう! 子育て

6日から講座「親子教室」

いつの時代でも「子どもの育ち」は不安や悩みごとの多いのが常です。今回は「親子の遊び」を通じて「育ち」を知ることを目指し、連続4回の公民館講座を予定しています。コロナ禍の中、多少とも父母の手助けになればと思っています。講師は池村みどりさん(タンポポ公園園長) 毎週土曜日午後1時から、公民館。

【第1回】2月6日(土)

「子どもの育ちについて」

【第2回】2月13日(土)

「親子で遊ぼう」小麦粉の粘土遊び

【第3回】2月20日(土)

「親子で遊ぼう」新聞紙紙遊び

【第2回】2月27日(土)

「子育て相談会」

※参加費無料 子育て現役世代の皆さんだけでなく、祖父母世代の参加も大歓迎です。

躍動する子どもたち!

強く しなやかに! コロナになんか負けないぞ!

書き初め 稽古始めなど全教室が新年の活動再開



「里浜22」発足

西海岸開発問題で市民連携

「里浜を22世紀につなぐ会」の略称です。松本市長の「軍港北側案受け入れ」表明から、にわかに浮上したサンエーパルコ前面のイノ埋め立問題。危機感をもった多くの市民が「自然海浜を残そう」「市民の未来財産を守ろう」と県や那覇・浦添市などへの要請行動、啓発活動を実践するために急ぎよ立ち上げた市民活動団体です。まずは玉城知事に西海岸開発計画の見直しと自然海浜の保全活用を訴えていく予定です。

ゆいだき、ときどき閑話

松本市長は一体何を考えているのだろうか? 新聞報道によると、3選に向けた政策発表で、那覇軍港移設問題について「3者合意をベースに県、那覇市と再協議する」という。え? なんだ! 再協議の余地があったの? 市民には「県・那覇市の壁が厚すぎてもうお手上げだ」と説明し、「西海岸を埋めて北側に軍港を受け入れる」と出馬理由にしていたのに。一方でイノ埋立については「キンザー跡地利用との一体的活用」を理由に促進を掲げている。要するに「埋めること」が本音の目標のように写る。このこだわりはどこから? 浦添ふ頭計画への執着からか?



時代は変わり、自然海浜も新しい利用価値が広がっている。20年前つくられた浦添西海岸計画はもはや時代にならぬ。コロナ終息後に再議論して進めるべき、まちづくりの一大課題と考える(写真:サンエーパルコ前の海辺。奥方向が西洲団地)

【お詫びと訂正】前月号「ゆいだき」の文中、松本市長の対立予定候補者として「伊礼由紀子」と書きましたが、正しくは「伊礼ゆうき(悠記)」さんでした。お詫びの上訂正します。